

調 理 部 会 報 告 書

浜田市保育連盟会長 山崎 央輝（おぐに保育所）			調理部会 研究委員長 三浦 果穂（岡見保育所）		
開催日時	令和5年4月21日	開催場所	浜田市総合福祉 センター2階 研修室I	記 録 者	橋口 采優 （今福保育園）
	14:30～17:00				
出席園	17園			欠席園	おぐに保育園 ちどり保育所
【第5回 研究委員会】					
1. 新年度名簿、連絡網、出席表書式確認					
2. 年間食育計画表を持ち寄り、前回と同じ2グループに分かれて協議					
各園が持ち寄った年間計画表を参考に、各園で抱える食の問題点、普段の食育活動で改善できることを検討。					
A グループ					
問題点					
<ul style="list-style-type: none"> ・食材や献立名を知らない子が多いので、何が食べたいのか聞くことができない ・食事を食べる時のマナー（はしの使い方、椅子の座り方など） 					
改善点					
<ul style="list-style-type: none"> ・旬の食材を育て、知らせるなど、継続的な食育をすることで生きる力を育てる 					
B グループ					
問題点					
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の暮らしの中で危険なことを大人が制限しすぎているので、子ども自身がなぜ危険なのか考える機会が少ない（包丁を取り扱う、熱いやかんに気を付けるなど） 					
改善点					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体となって考える場面を作る ・その年の子どもによって食育内容を変える ・自己肯定感を育て、自発的に行動するように促すことで生きる力を育てる 					
2グループとも「生きる力」を育てたいという意見がでたため、研究のサブタイトルを「浜田の子どもの生きる力を育む」にする。					

3. サブタイトルに沿った食育活動について、2グループに分かれて協議

Aグループ

- ・食材について知る（味噌汁づくりなど）
- ・マナーについて（はしの持ち方、姿勢）

Bグループ

- ・三色ボード
- ・米とぎ
- ・味噌汁づくり

各グループで協議した食育活動が可能かどうかを各園に持ち帰り検討

4. その他

次回の研究委員会

日時；令和5年5月24日（水）14：30～17：00

場所；浜田市総合福祉センター 2階 研修室1



●令和5年4月21日研究委員会を開催しました。

2グループに分かれて、研究内容について話し合いをしました。

以上